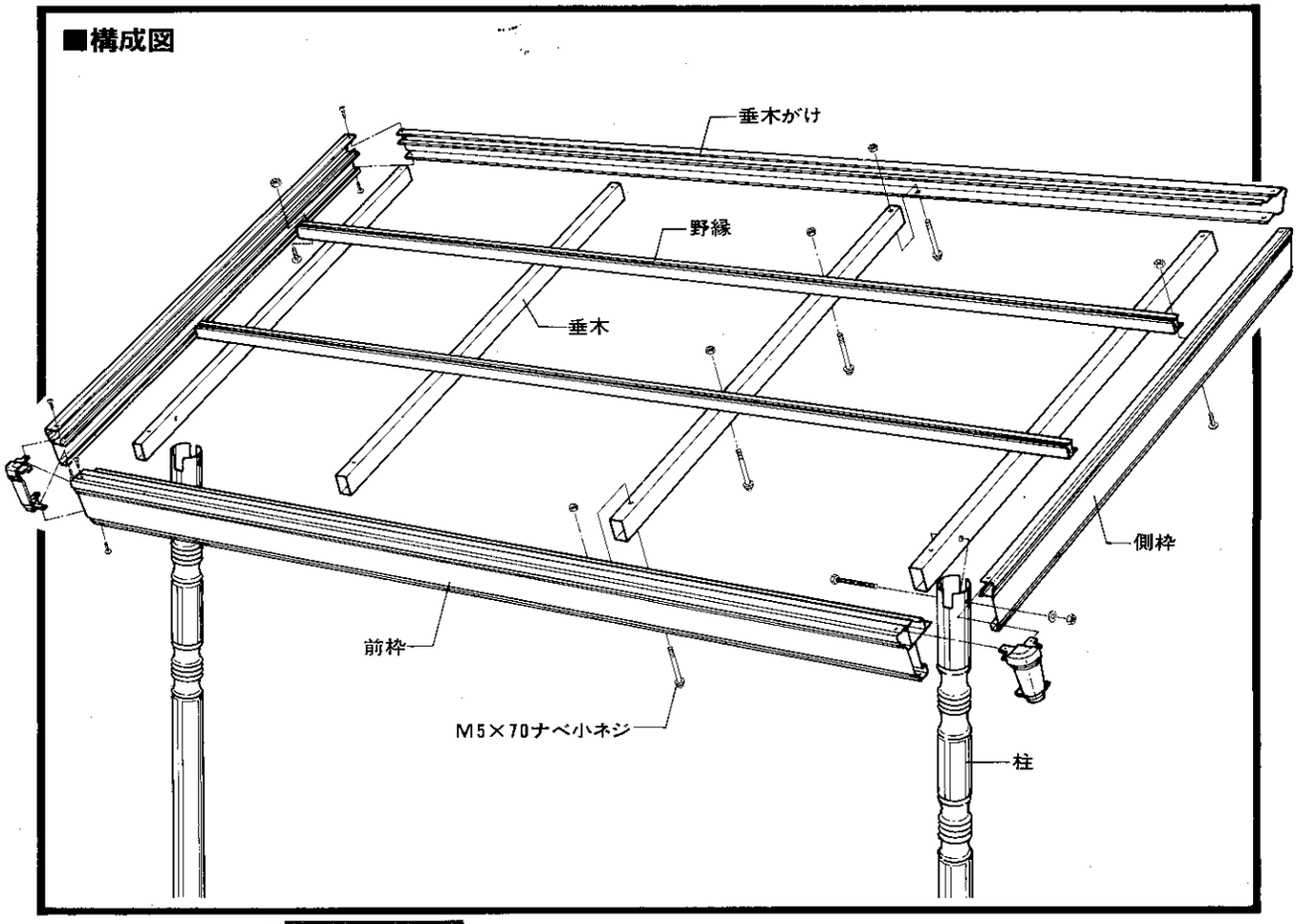
TOSTEM
トーヨーサッシ株式会社

デラックステラス取付け説明書

この製品は、日本工業規格認定工場で生産しており、㊐マークの表示が許可されております。

■構成図



お願い

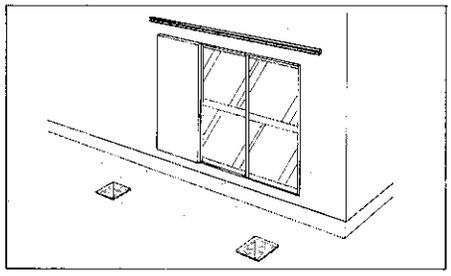
- 組立てネジ・ボルトは、締め忘れぬよう、また使用中緩まぬよう、確実に締め付けてください。
- タッピンネジの下穴は、太いドリルを使用するとネジの保持力が下がりますのでご注意ください。
- アルミ形材が亜鉛・ステンレス以外の金属と接触する時は、絶縁処理をしてください。
- 取付け時は、野縁と垂木以外のところには乗らないでください。
- 波板はJIS製品をご使用ください。
- プラグ類を使用して、モルタル部分だけで固定することは非常に危険ですから、絶対に行わないでください。
- 現場で出幅や軒幅の調整をする場合、必ず垂木又は、側枠の幅詰めで対応してください。

※柱だけの出幅調整は絶対に行わないでください。

この説明書は、施工完了後施主様に、お渡し願います。

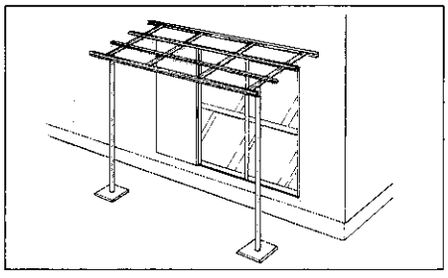
取付け手順
(標準タイプの場合)

1. 柱基礎と垂木がけの取付け



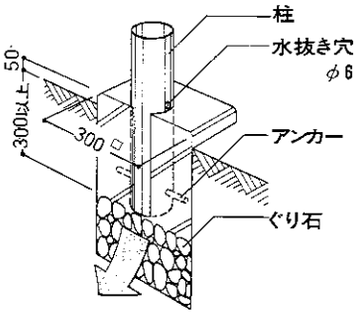
- 垂木がけのネジ止め位置に、柱又は間柱があることを確認し、垂木がけを取り付けます。
- 柱埋込み穴の位置を出し、柱基礎穴を掘ります。

2. 垂木・柱・前枠・野縁の取付け



- 柱の下部にアンカーを差し込みます。
- 柱用垂木と柱を組立ててから建て起こし、垂木がけに取り付けます。
- 柱用垂木に前枠を取り付けます。
- 垂木がけと前枠に中間の垂木を取り付けます。
- 垂木に野縁を取り付けます。

■ 一般用柱基礎

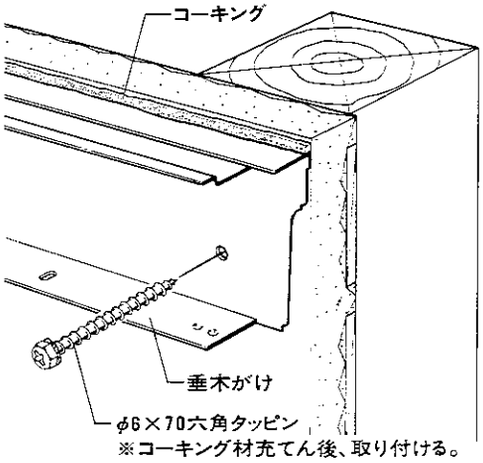


■ 基礎について

※ 地下埋設物(給排水管など)に影響を及ぼさないようご注意ください。

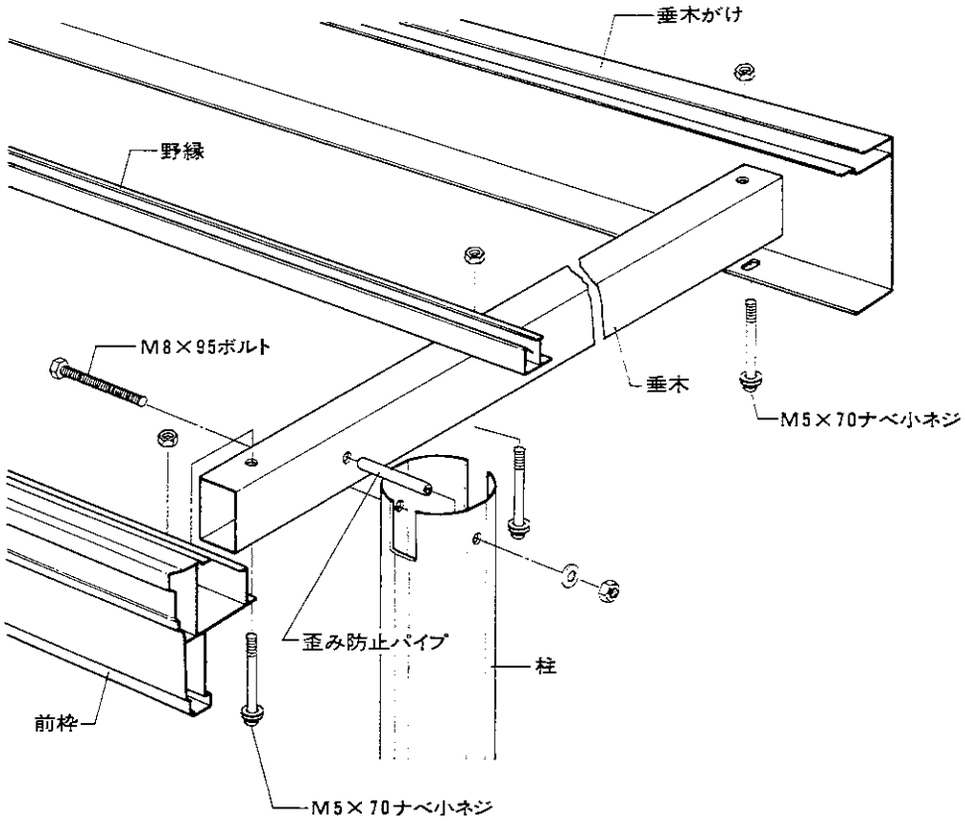
※ コンクリート(またはモルタル)には急結剤は絶対に使用しないでください。使用しますとアルミが腐食するおそれがあります。

■ 垂木がけの取付け

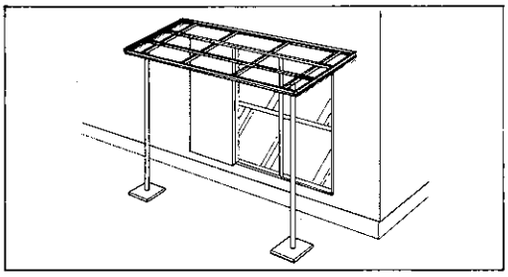


※ 垂木がけは必ず軀体の柱、間柱など構造材に取り付けてください。
軀体が経年変化などで損傷が著しい場合は施主様と十分打合わせの上、必要に応じて補修をした後、取り付けてください。

■ 垂木・柱・前枠・野縁の取付け

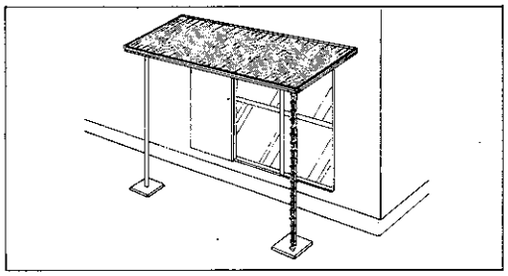


3. 側枠の取付け



● 側枠にコーナー継ぎ手を取り付け、前枠・垂木がけ・野縁に固定します。

4. 雨どい・波板の取付け



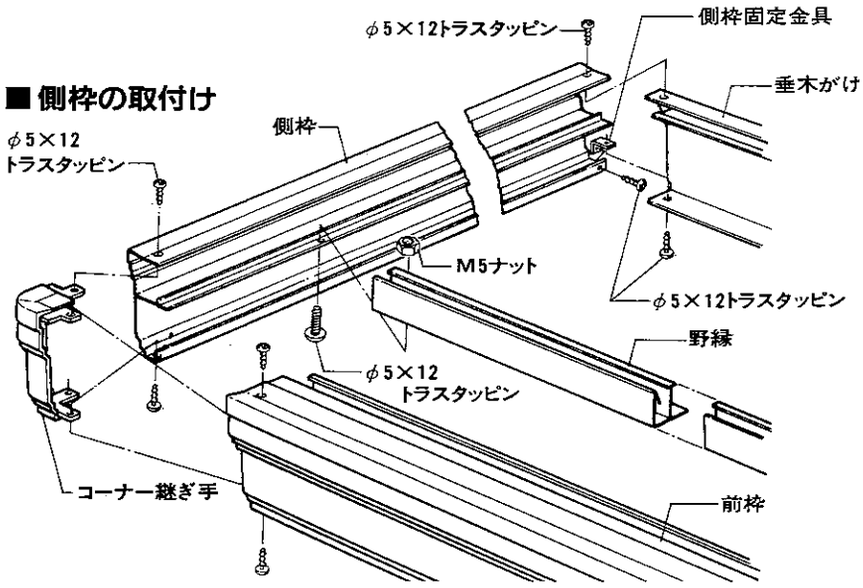
■雨どいの取付け

● 雨どい取付け側の半パンチ穴をあけ、前枠継手を取り付けてから、右図のように化粧くさりをセットします。

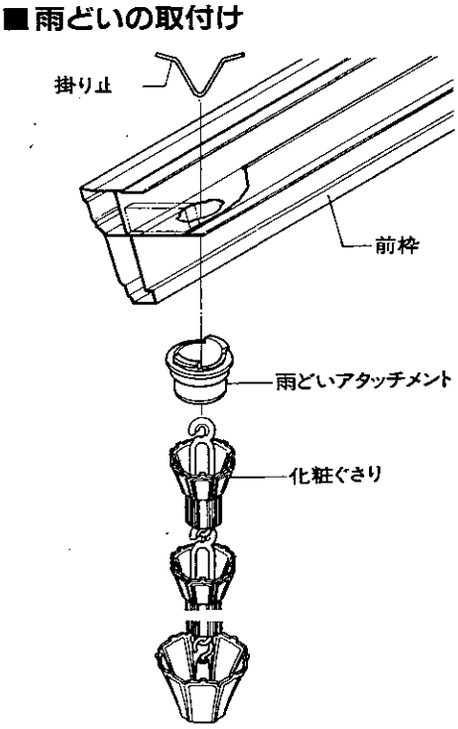
■波板の取付け

● 波板をセットし、波板止メフックで取り付けます。

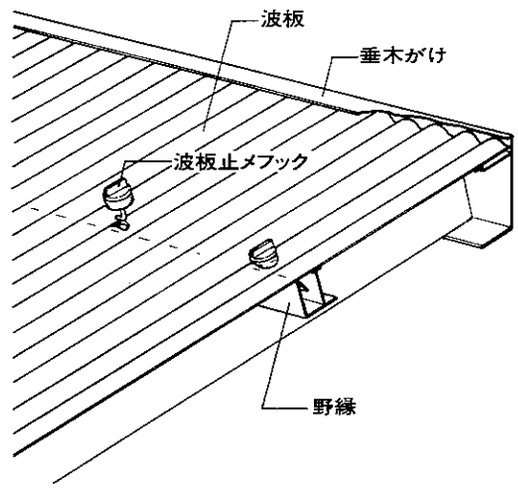
■側枠の取付け



■雨どいの取付け

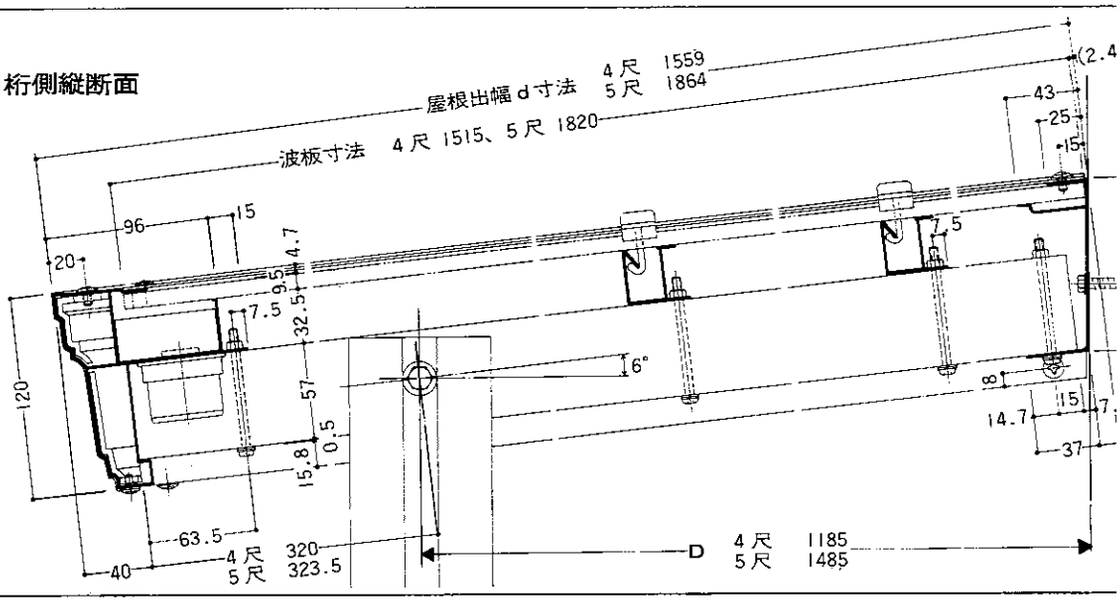


■波板の取付け



納まり参考図

■桁側縦断面



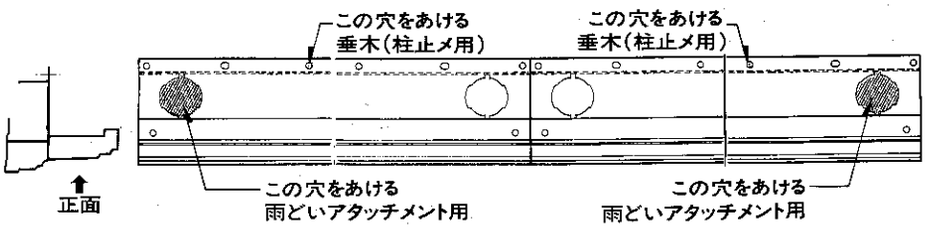
連結タイプの場合

2連結タイプの場合

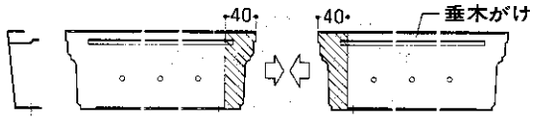
取付け要領は標準タイプと同じですが柱 3 本となります。

- 垂木がけの突付け側をそれぞれ40mm切断し、突き付けて取り付けます。
- 前枠の連結部には前枠接続カバーを取り付けます。

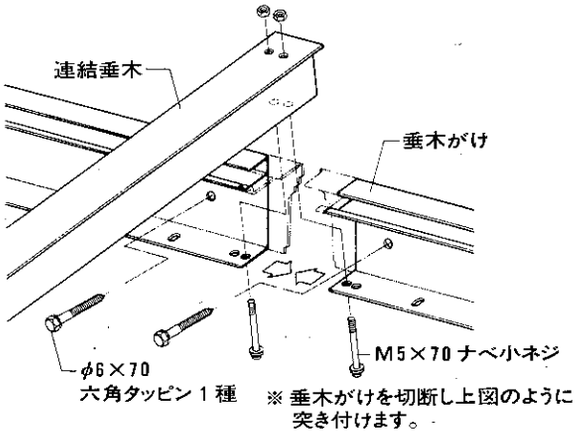
■前枠の半パンチ穴あけと垂木(柱止メ用)取付け穴あけ



■垂木がけの切断

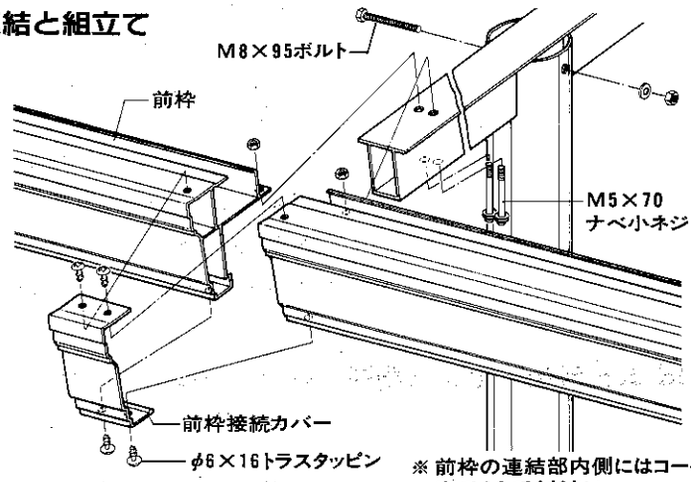


■垂木がけ・連結垂木の取付け



※ 垂木がけを切断し上図のように突き付けます。

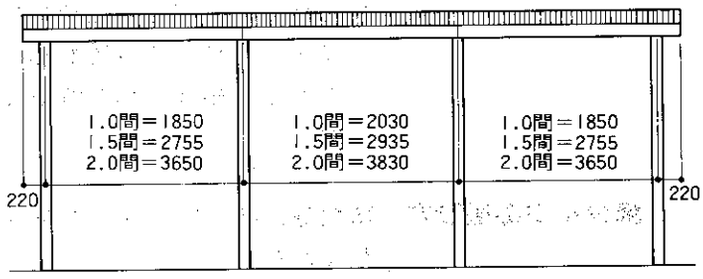
■前枠の連結と組立て



※ 前枠の連結部内側にはコーキング材を充てんしてください。

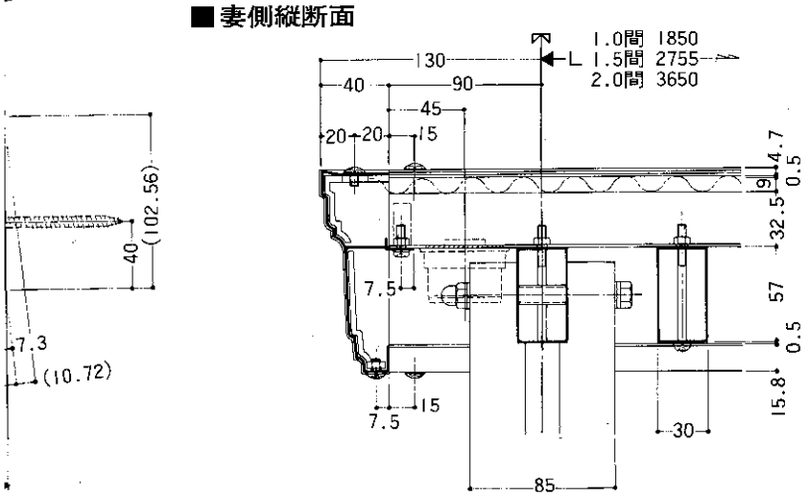
3連結タイプの場合

- 中央部の柱心心の寸法が右図のように両側の寸法と異なります。

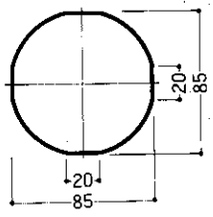


2.45)

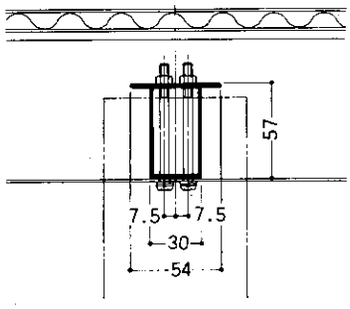
■妻側縦断面



■柱部横断面



■連結タイプ中央部納まり



【工務店さまへのお願い】

通常の取扱いによって生じた不具合いについては、原則として当社の責任において交換・補修しますが、下記の場合は責任を負いかねますので十分ご注意ください。

- 当社が表示した取扱い上の注意事項及び、維持管理の注意事項を守っていなかった場合。
- 当社が表示した以上の性能を必要とする用途や個所(地域)に製品を設置した場合。
- 工事上の欠陥があった場合。
- 製品に他の構成材を加えたり、又は規格外に加工して製品の形態を変えている場合。
- 風・雪による落下や飛来による損傷。
- 製品の表面に、特に塩害や大気中の砂じんやばい煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどの反応物質が付着しておこる腐食。
- 不可抗力(天災、地変、異常気象〔風、雪、水害など〕地盤沈下、火災、騒乱など)による場合。
- 製品の構成材であっても、当社の供給責任範囲外のもの(波板など)
- 当社以外のバルコニーと組み合わせた場合。

■JIS規格外となる機種

※デラックステラスはJIS認定品ですが、下記の機種はJIS A 6602の規格と、寸法が異なるため、JIS規格外となります。

- 3連結の機種(4.5間用・5.0間用)
- L寸法が関東間2.5間(4605mm)のもの

- 上記のJIS規格外に該当する場合は、組立て前に前枠に張ってある㋜マークを切り取り線から、はがしてください。
  ただし、強度・耐久性など品質については、JIS製品と変わりありません。

■タイプの選び方

積雪量に応じて各タイプを用意しております。下記の基準をもとにお選びください。

一般地域用1形……積雪 30cm以下の地域

【施主さまへのお願い】

トーヨーサッシ製品をご採用いただき誠にありがとうございます。製品をいつまでも美しく、そして快適にご使用いただくために、ぜひお読みください。そして日々のお手入れにお役立てくださるようお願い致します。

■ネジ・ボルト類の増締め

●6ヵ月程度のご使用後、ネジ・ボルト類は増し締めをしてください。

■雪おろしについて

●積雪時には、危険ですので早めに雪をおろしてください。
雪おろしの目安……一般地域用Ⅰ形(積雪20〜30cm)

●雪おろしなどで屋根に上がる場合、野縁と垂木以外には乗らないでください。

■清掃について

●腐食の防止には、定期清掃が一番です。
簡単な水洗いだけでサビは防げます。定期的に年1〜2回程度水洗い、空ぶきをするだけでぐんと長持ちします。汚れの特にひどい、工業地帯や海岸のすぐそばなどでは清掃回数を増してください。

●アルミニューム表面の保護膜に傷をつけますと、腐食を早めます。清掃には布やスポンジなどの柔らかいものを使用し、やむを得ない場合のみスコッチブライトをご使用ください。金属性ブラシや金ベラは絶対に使用しないでください。

●小石・砂などがアルミの表面についたまま布でこすると、表面を傷つけます。あらかじめ取り除いてください。

●洗剤は中性のものだけを使用してください。酸性やアルカリ性のものはアルミ表面の保護膜を侵し、サビの原因となります。

■建物の立地条件と清掃のひん度例

立地条件	清掃回数
臨海工業地帯	6〜12回／年
海岸・工業地帯	4回／年
商業地帯	3〜4回／年
田園地帯	3回／年

■汚れの程度と清掃方法

軽い場合……水でぬらしたぞうきんでふきます。

ひどい場合……中性洗剤をうすめた液で汚れを落した後、洗剤が残らぬよう水洗いし、空ぶきをします。

著しく腐食しサビが出た場合……中性洗剤をつけた、スコッチブライトまたは目の細かい紙ヤスリで、部分的に軽くこすり、汚れやサビを除いた後水洗いし、表面に適した塗料(家具用ワックス等)で補修してください。

注1)スコッチブライト(住友スリーエム)の粒度はウルトラファイン。

注2)こする際は一定方向(アルミ押出しの筋目方向)にこすります。

注3)洗剤(薬品類)は、説明書をよく読んでから使用してください。

■波板の交換について

●波板の耐要年数は、硬質塩化ビニル製とガラス繊維強化ポリエステル製では多少異なりますが、波板の端部や、固定穴の周辺に亀裂が生ずる等老化してきた場合は、早めに波板の交換をお願い致します。
波板のお取り換え時に使用する波板止めフック(波板固定用)やその他の部品が必要な場合、または製品についてのお問い合わせは、最寄りのトーヨーサッシ取扱い店、またはトーヨーサッシ営業店にお願い致します。致します。

MAB-420 7-60929.Ⓘ.Ⓝ

トーヨーサッシ株式会社 本社 〒100 東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル 葛飾ビル 〒124 東京都葛飾区細田3-8-9 商品の仕様に関するお問合せは 商品相談室 TEL(03)672-1141